

函 企 交 事  
令和4年(2022年)11月14日

報道機関各位

企業局交通部施設課長

「ササラ電車」試運転の実施に係る報道依頼について

平素より本市交通事業に対しましてご協力をいただき誠にありがとうございます。  
さて、企業局交通部では、冬の風物詩である「ササラ電車」の試運転を実施いたしますので、取材方よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 試運転日時 令和4年11月21日(月) 予定  
午前10時00分～説明開始  
午前10時20分～駒場車庫出庫
- 2 説明場所 函館市駒場町15番1号  
函館市企業局交通部駒場車庫構内
- 3 試運転経路 駒場車庫前電停から五稜郭公園前電停を往復
- 4 その他
  - ① 取材の際は、管理庁舎1階へおいでください。
  - ② 当日は、車両担当が説明いたします。
  - ③ 危険防止のため、試運転時は、車内への乗り込みはできません。
  - ④ 当日は、2両の「ササラ電車」が試運転を行います。
  - ⑤ 構内におけるの撮影は電車の外観のみとさせていただきます。

〒042-0935

函館市駒場町15番1号

函館市企業局交通部施設課 車両担当 谷上 洋佑

電 話 : 0138-52-1412

F A X : 0138-32-1735

## 「ササラ電車」(除雪車)について

「ササラ電車」とは

除雪作業用電車のことで、正式にはブルーム式電動除雪車といい、車両の前部に取り付けられた「ササラ」と呼ばれる竹製のブルーム(箒)を回転させて、軌道上の雪を除雪します。

当局のササラ電車は、もともと東京市電気局(現在の東京都交通局)で使用されていた電動客車で、明治30年代に製造、大正6年車体更新(東京市電気局浜松工場)され「ヨヘ口形」として活躍しており、1934(昭和9)年の函館大火で焼失した車両を補うため、東京市電気局より中古電車として購入したものです。その後、1937年(昭和12年)に函館水電でササラ電車に改造し現在は、3号車と4号車の2両が現存し、今日まで冬期間の除雪作業を担っております。  
※ササラ電車は、当局と札幌市電でのみ使用しております。

主要諸元 全長8,700mm 全幅2,344mm 全高3,960mm 自重10.39t  
台車型式 米国ブル21E-1 電動形式 鳥羽MT-60

※ササラについて

プラスチックブラシに比べ腰が強く、折れにくいため札幌市でも使用している。1両には前後併せて900束のササラが使われており、1束のササラは約200本の細く割った竹からできています。

### 【参 考】

- ★平成29年度 平成29年11月25日～平成30年2月17日まで出動  
2両の除雪車で、のべ20日の出動。 総走行距離 約755.801キロ
- ★平成30年度 平成30年12月9日～平成31年2月8日まで出動  
2両の除雪車で、のべ10日の出動。 総走行距離 約434.360キロ
- ★平成31年度 令和元年12月31日～令和元年12月31日まで出動  
1両の除雪車で、のべ1日の出動。 総走行距離 約21.640キロ
- ★令和2年度 令和2年12月15日～令和3年2月3日まで出動  
2両の除雪車で、のべ12日の出動。 総走行距離 約222.997キロ
- ★令和3年度 令和3年12月13日～令和4年3月6日まで出動  
2両の除雪車で、のべ13日の出動。 総走行距離 約295.716キロ